



◆
新技術採用により環境負荷をさらに低減

「DNA dB super E-spec」発表

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、「eco MOTION（エコモーション）」の一環として、ころがり抵抗をDNA dB ES501に比べ20%低減した「DNA dB super E-spec（ディーエヌエー・デシベル・スーパーイースペック）」を発表した。発売は2007年夏の予定で、発売サイズは195/65R15 91H、185/65R15 88H、195/55R16 86Vの限定3サイズ。価格はオープンプライス。

横浜ゴムは、1998年にころがり抵抗を低減し、車の燃費向上に貢献するエコタイヤ「DNA」を発表、以来、乗用車用タイヤの中心商品として展開している。新商品「DNA dB super E-spec」は、天然ゴムにオレンジの皮脂から採った「オレンジオイル」を配合した新コンパウンド「スーパーナノパワーゴム」、空気抜けを大幅に抑制する新素材インナーライナー「空気透過抑制フィルム※」などの新技術を投入し、優れたグリップ力を維持しつつ「DNA」シリーズ中最高のころがり抵抗低減を実現した。また、限りある石油資源の有効活用を図り、原材料における非石油系資源の使用率を従来品に比べ80%に高めるなど、あらゆる面で地球環境に貢献するエコタイヤとなっている。トレッドパターンは静粛性に定評のある「DNA dB ES501」のパターンを継承した。※空気透過抑制フィルムの素材は日本国内特許を取得済み。

横浜ゴムでは、グループで取り組む環境貢献活動のスローガンを「eco MOTION」と名付け、各種環境貢献商品の開発、生産・事務部門での環境貢献活動を推進しているほか、環境貢献活動の支援を行っている。こうした中、「DNA dB super E-spec」は環境貢献商品におけるシンボリック商品となる。



環境性能をさらに高めた「DNA dB super E-spec」

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

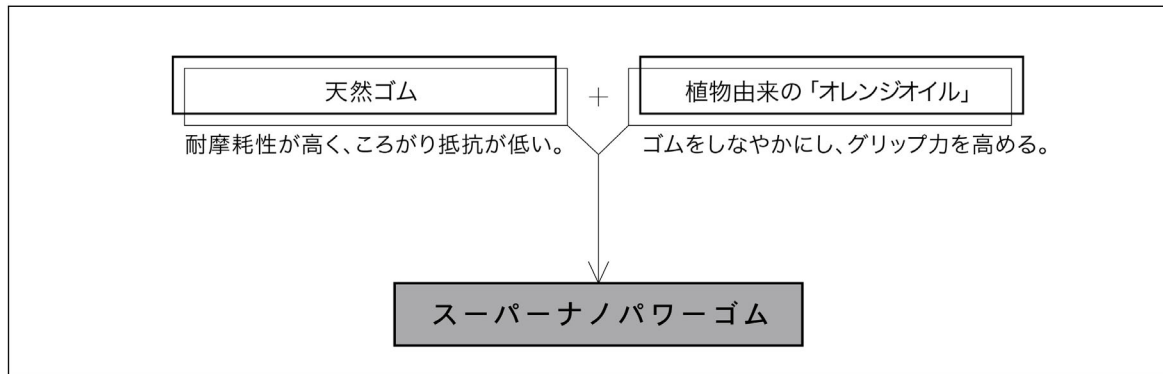
◆
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430

優れた省燃費性能とグリップ性能を両立した「スーパーナノパワーゴム」

「スーパーナノパワーゴム」は、天然ゴムに植物由来の成分「オレンジオイル」を配合し、当社従来品よりころがり抵抗を低減しながら、同時に高いグリップ力を引き出す。

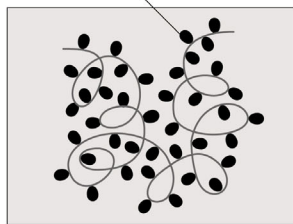
■スーパーナノパワーゴムのイメージ図



■「オレンジオイル」が、ころがり抵抗とグリップ力を両立

石油系オイルに替えて採用した「オレンジオイル」は天然ゴムになじみ、タイヤ表面をしなやかにする。しなやかなゴムは、路面の微細な突起にも密着し、さらに車の制動時には「オレンジオイル」自体もグリップに必要な熱を発生する。これらの働きによって、ころがり抵抗の小さい天然ゴムに、確かなグリップ力を与える。

ポリマー(合成ゴム)

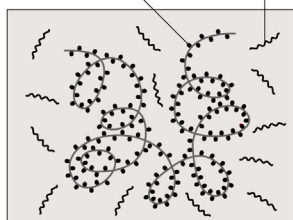


- 当社従来品の合成ゴム
通常の合成ゴムは、微細な突起には密着しにくい。

<イメージ図>



ポリマー(天然ゴム) オレンジオイル



- スーパーナノパワーゴム
「オレンジオイル」の働きで天然ゴムにしなやかさと発熱性をプラス。

<イメージ図>

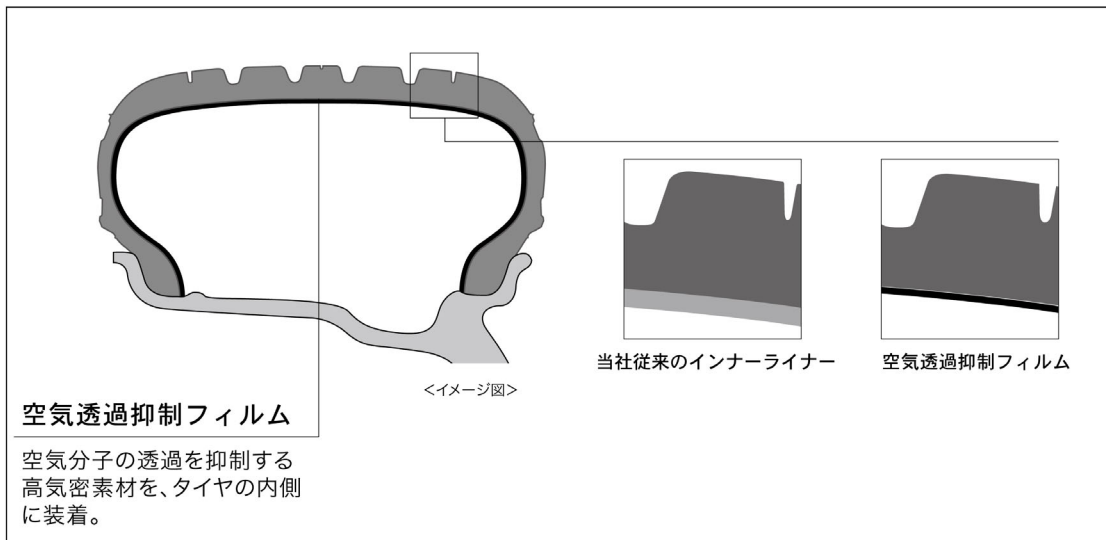


●当社レギュラー製品(DNA dB ES501):94.6/DNA dB super E-spec E501E:77.9
<試験方法>室内当社ドラム抵抗試験機による、ころがり抵抗係数(RRC)を測定。
<試験条件>タイヤサイズ/185/65R15 88H、リムサイズ/15×6JJ、空気圧/230kPa、負荷荷重/4kN
※テスト結果に関する詳細なデータは、タイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

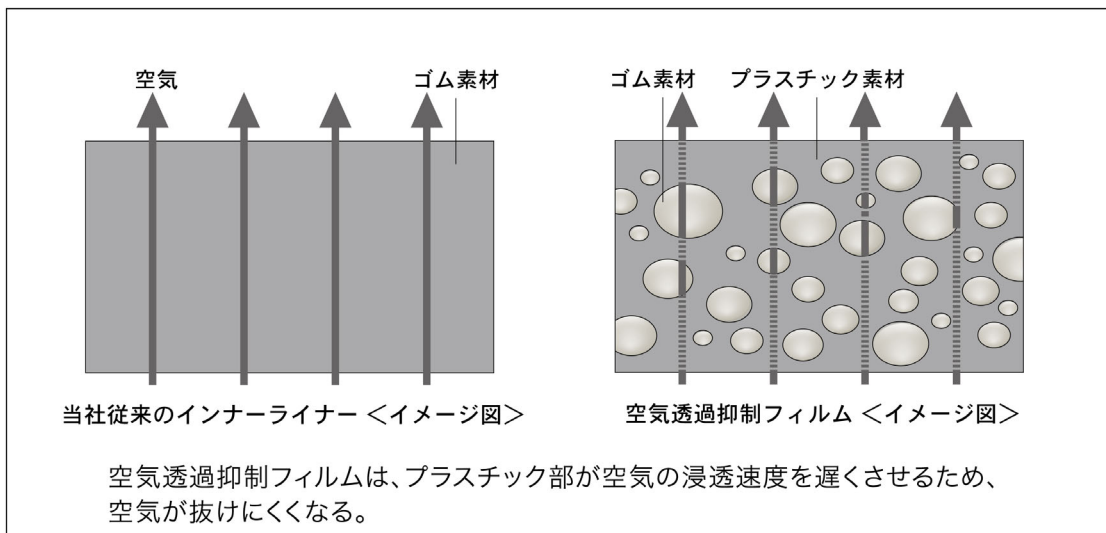
軽量化と燃費の悪化防止に寄与する「空気透過抑制フィルム」

「空気透過抑制フィルム」は、ゴム素材の持つしなやかさと、空気漏れを効果的に抑制するプラスチック素材の特性を併せ持つ新素材。高気密でありながら、従来のインナーライナーの約5分の1の薄さで使用できるため、タイヤの軽量化に貢献する。また、タイヤの空気漏れを効果的に防ぎ空気圧を適正に保つことで、燃費の悪化を抑制する。

■当社従来のインナーライナーの約1/5の薄さを実現



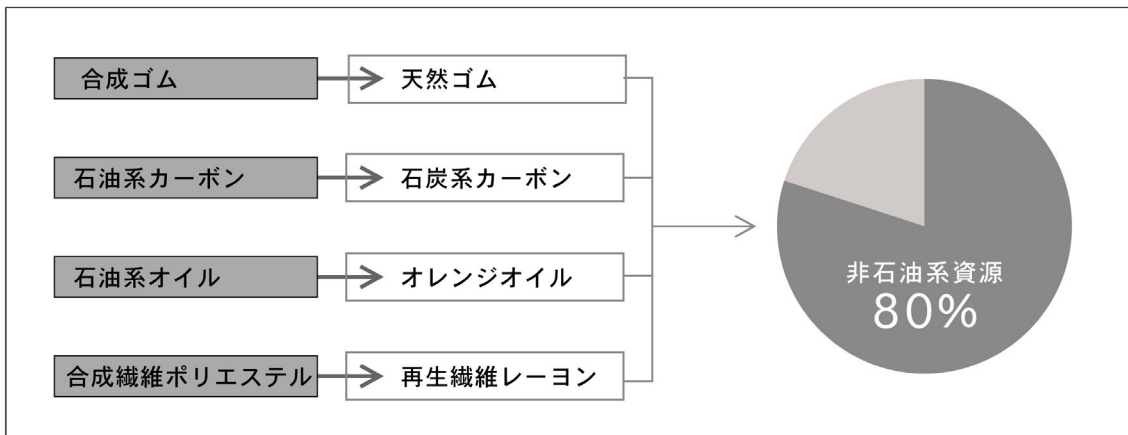
■プラスチック素材の配合で空気の透過を効果的に抑制



原材料の非石油系資源率を80%に向上

多くの原材料を非石油系資源に切り替えることで、限りある石油資源への依存度を低減。また、LCA（ライフサイクルアセスメント）などの環境指標評価に基づいてCO₂排出量の削減に配慮した。

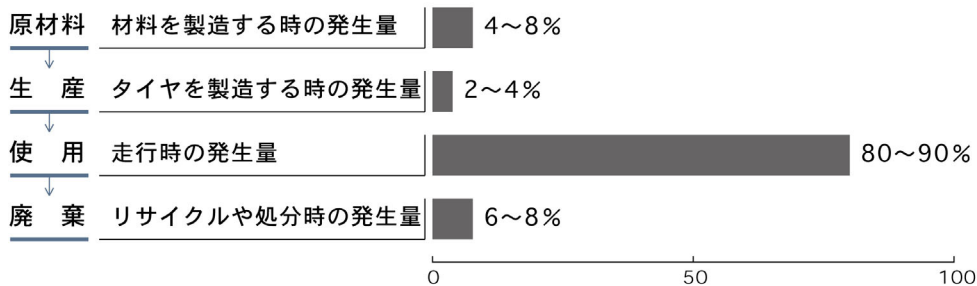
■主な原材料を非石油系資源にし、環境負荷を低減



■LCAの活用でCO₂排出量の削減に貢献

LCA（ライフサイクルアセスメント）とは、製品が生産から廃棄までの間に、どれだけ環境に負荷を与えるかを数値データで分析する手法。「DNA dB super E-spec」は、原材料の製造時から装着したクルマが走行する時、タイヤの廃棄時までの全生涯を通してCO₂排出量を分析評価し、開発に活かしている。

●タイヤの製品ライフサイクルにおけるCO₂の排出量



※上記はヨコハマのタイヤ製品について、おおよその数値をグラフ化したもの。

静粛性に優れるデシベルパターンを継承

ラウンドサイプ

ゆるやかな円弧状のサイプでエッジの効きを強化。ウェット路面の走行時に確かなハンドリングを導く。

低ノイズサイドグループ

サイドウォールの振動が車体との共振を抑制し、ロードノイズを低減。

ワイドストレートグループ

直進性、排水性を高める4本グループ。ウェット路面での高速走行時に安定した操縦性能を発揮。



バリエابل・コンビネーション・サイプ

タイヤ全周に細かくサイプを施し、144個ものブロック数を実現。接地面の数を増やすことで、回転時の音を分散させた。また接地面をできるだけ小さく、細かくすることで個々のブロックが路面を叩くときの衝撃音も低減する。

ノイズを抑える5ピッチバリエーション

大きさが異なる5種類のピッチ（ブロック）配列をさらに左右で少しずらし、配列と位置を最適化。走行時のノイズ周波数を分散させて、耳ざわりな音域のパターンノイズを抑える。

面数が多いほど、音は小さくなる。

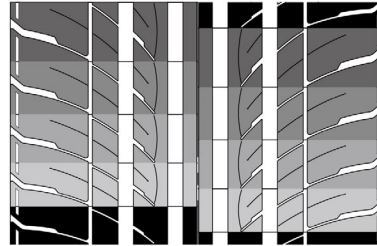
<イメージ図>



接地面の数が少ないと回転時の音も激しい。

接地面の数が増えると回転時の音が小さくなる。

真円ではさらに回転時の音が小さくなる。



ピッチ配列イメージ図

発売サイズ

インチ	扁平率 (%)	タイヤサイズ	発売予定
16	55	195/55R16 86V	2007年夏
15	65	185/65R15 88H	
		195/65R15 91H	

ご掲載時の読者のお問い合わせ先
タイヤお客様相談室
TEL : 0120-667-520 (フリーダイヤル)

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム (株) 広報部 担当 : 入江
TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-3432-8430